

凍結予防をするとき

外気温が0℃以下になるときは、凍結予防を行ってください。

・便器の種類によって凍結予防のしかたが異なります。便器の種類に合わせて、作業してください。

お願い

- ・外気温が0℃以下になるときは、節電しないでください。(製品が破損するおそれ)
- ・周囲の温度が0℃以下にならないよう、トイレ内を暖めるか、凍結予防を行ってください。

■設定のしかた

・凍結防止の前に

リモコンで、「オート便器洗浄」「オートふた開閉」を「切」にしてください。



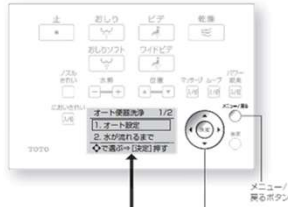
約10分間隔で便器洗浄

約5分間隔でノズル付近から水が出る

■凍結防止中のウォシュレットの動作

- ・「運転」ランプが点滅する
- ・約10分間隔で便器洗浄(約4.8L)する
- ・約50mlの水が約5分間隔でノズル付近から出る(ノズルは収納したまま)

オート便器洗浄



↑で項目の枠を動かし、
↓で設定を選び、
ENTERで決定する

この画面での設定項目
1. オート設定
2. 水が流れるまで

1. メニュー/戻るを押す
2. ↑/↓で「オート機能」を選ぶ
3. ↑/↓で「オート便器洗浄」を選ぶ

4. ↑/↓で「オート設定」を選ぶ
5. ←/→で「入/切」を選ぶ

自動で便器洗浄するしない
オート設定

オート設定を切に設定しました
(戻るとき→)

オートふた開閉



↑で項目の枠を動かし、
↓で設定を選び、
ENTERで決定する

この画面での設定項目
1. オート設定
2. ふたが開まるまで
3. ふたが開くまで
4. 開きかた

1. メニュー/戻るを押す
2. ↑/↓で「オート機能」を選ぶ
3. ↑/↓で「オートふた開閉」を選ぶ

4. ↑/↓で「オート設定」を選ぶ
5. ←/→で「入/切」を選ぶ

自動で便ふたを開閉する/しない
オート設定

オート設定を切に設定しました
(戻るとき→)

■ご使用のタイプを選択してください



| 凍結予防方式 | 便器品番 |
|----------------|----------|
| 流動方式 | 品番に「H」なし |
| ヒーター付便器・水抜併用方式 | 品番に「H」あり |

流動方式

ヒーター付便器・水抜併用方式

流動方式 (ヒーター付便器・水抜併用方式以外)

便器とウォシュレットの水を、一定の間隔で自動で流して、凍結を予防する方法です。

便器とウォシュレットの水を一定の間隔で自動で流す 凍結防止

この画面での設定項目
凍結防止

↑で項目の枠を動かす
←→で設定を選び、
OKで決定する

メニュー/戻るボタン

1. メニュー/戻るを押す

2. ↑で「その他設定」を選ぶ

3. ↑で「凍結防止」を選ぶ






4. ←→で「入/切」を選ぶ

＜「入」に設定する場合＞ 設定すると約10分間隔で便器洗浄して凍結を防止します。

10分間隔で便器洗浄し、設定する? 「はい」を選ぶ

凍結防止を「入」に設定しました (戻るとせ→)

ヒーター付便器・水抜併用方式

- 1 水抜栓を操作して、給水を止める
お願い
 ・止水栓は開けたままにしておいてください。
 (製品内部の水が抜けずに凍結破損するおそれ)

- 2 **押し**
 ・ノズルカバーが開く(給水管の圧抜き)

- 3 電源プラグを抜く
- 4 配管の水を抜く
 ①カバー・給水フィルター付水抜栓を取りはずす
 ・給水フィルター付水抜栓を⊖ドライバーでゆるめたあと、引っ張る

 ②水抜きが終わったら、給水フィルター付水抜栓・カバーを取り付ける
 ・給水フィルター付水抜栓を押し込み、⊖ドライバーで確実に締める

- 5 電源プラグを差し込む
 ・「運転」ランプが点灯する
- 6 すっきりパネル(右)を取りはずす

- 7 タンクの水を抜く
 ・すっきりパネル裏面のラベル「タンク内水抜き作業手順」参照
- 8 便座温度を「高」にする
 ・保温のため、作業後は便座・便ふたを閉めておく
再度ウォシュレットをお使いになるときは
 ・再通水が必要です。




お知らせ

- ・ヒーター付便器は室温が5℃以下になると自動でヒーターが入ります。
- ・凍結のおそれがないときは、ヒーター付便器の電源プラグを抜いておいてください。


別荘などのトイレを長期間使わないときは、水抜きをしてください。
 (タンク内の水が腐敗して皮膚の炎症などをおこす原因)(凍結して製品破損などをおこす原因)

ご注意 「お掃除リフト」で本体が上がった状態での水抜きはしないでください。

水抜きのしかた

- 1 ■流動方式のとき
 止水栓または元栓を開める
 ■ヒーター付便器・水抜併用方式のとき
 水抜栓を操作して、給水を止める
お願い
 ・止水栓は開けたままにしておいてください。

- 2 **押し**
 ・ノズルカバーが開く(給水管の圧抜き)

- 3 電源プラグを抜く
- 4 配管の水を抜く
- 5 水抜きレバーを引き出す
 ・ノズル付近から水が出る(約20秒)

- 6 手を離し、水抜きレバーを元に戻す
- 7 ■ヒーター付便器・水抜併用方式のみ
 便器内のタンクの水を抜く
 ・すっきりパネル裏面のラベル「タンク内水抜き作業手順」参照
凍結のおそれがあるときは
 ・便器のたまり水(封水)に不凍液を入れるなどして凍結しないようにしてください。
 (不凍液はそのまま流さず、使用前に回収し、廃棄処分してください。)
再度ウォシュレットをお使いになるときは
 ・再通水が必要です。

再通水のしかた

- 1 止水栓または元栓を開ける (P.13)
 または、水抜栓を操作して、給水する
 ・配管やウォシュレット本体から水漏れしていないことを確認する
- 2 電源プラグをコンセントに差し込む
 ・「運転」ランプが点灯する
- 3 ①ノズルから水を出す
 (1) 便座の左側を押したまま、リモコンの「おしり」ボタンを押して、ノズルから水を出す
 ・水は紙コップなどで受けてください。
 (2) リモコンの「止」ボタンを押す
 ② **押し**
 ・便器に水を流しながらタンクに給水します。ウォシュレット本体表示部のランプが点滅し、給水が完了すると点灯に変わります(最大約80秒)。
 ※給水が完了するまで便器洗浄できません。タンク給水中はすべての操作をしないでください。
残水が凍結して水が出ないとき
 ・トイレ内を覆め、お湯に濡した布で給水ホースと止水栓を温める

- 4 便器に水がたまってから、もう一度 **押し** を押す^{※1}

※1 「便ふた閉止後洗浄モード」を「入」に設定しているときは、便ふたが開まったあと便器洗浄します。